

心耕

6 6 3 9

2017(平成29)年

10月号

10月1日 たった一匹、置いてけぼり
をくたツツツボウシを啼いている。寂しがる。

今月の行事

○十二日(木) 常例法座 一時より

法話担当…住転

○二十二日(日) 日曜法座 一時より

法話担当…若住転

遊仙 享經会…池上への体調不良により、二三日間お休め

三島以の 勉強会 四日(水) 午後六時より
十二日(木) 午後七時半より

刈り草刈り 八日 八時より

一日(日) 千葉相南ブロッコリー連続研修会 第二回

六日(金) ケアカラエ 午後六時半より

西光寺ヨガ 毎週土曜午後二時より 五百円

会法 八時出発 在転と共に十人乗り

間法 午後六時練習 申し込みは随時

第十一回

朝 毎朝 六時半より

勤行(おつとめ)の最初の音の高
さは殆どが八尺のし。これを教えて
くれる小さな器が数あり、スズホで
その音高を付けることができた。
たがみの音の高さに自分の音の高さ
を合わせようとすると異感があつた。嫌な
感じをおこす。ウケイスのホーホケ
キヨのホーの音、ツクボーシのツク
ツクツク…ツクボーシのツの音は
と鳥のさやらの虫の音の音で教えて貰
えばと思う。ウケイスにもツクツク
ホーシにも音高は一羽一匹とない
し、その音高をすする子にも上を下手
はいる音高外れはない。なので、
自然の音の音の高さを教えてくれた
らなうとびぼう。セアノではホーホケ
キヨもツクツクホーシも弾けないで
はないか。…… ナンパの音高を

みだだいひ せいがん
弥陀大悲の誓願を

ふかく信ぜんひとほみな

ねてもさめても入だてなく

なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏をとらうべし

正像末和讃

あみだによらい
阿弥陀如来がどこまでも衆生のことを知り尽くして「必ず助ける」と誓い願われたことを疑いなく信じる人は、みな必ず寝ているときも起きているときもどんな時でもナンマンダブナマンダブと称えるのです。
(住職意識)

わたし
私たちがどのような世界・社会に生きているか、どのような思いをもって生きているか、何を生きているか、阿弥陀如来はすべてを承知です。すべてを知られてしまっているということを疑いなく信じれば、自らが思うこと・話すこと・行うことの全てが鏡に映し出されるように知らされていきます。その姿を親鸞聖人は歎異抄に「地獄は一定住みかぞかし」(地獄に墮ちる以外はない)と述べられています。

かなら たす
「必ず助ける」という願いが衆生に届いている相がナンマンダブナマンダブのお念仏です。これを信じていることが出来ないのが多くの衆生の偽らざる実状です。お念仏はなかなか出てきません。阿弥陀さま自らまたお釈迦さまもお経の中で『難中の難、これに過ぎたるは無し』と語られています。両親のもとに生まれた赤ん坊は、お父さん・お母さんと何度呼びかけられても、二・三年は待たねばと・かーからお父さん・お母さんと呼ぶことはできません。同じように衆生はナンマンダブナマンダブと幾度となく呼びかけられても、見えるもの聞こえるもの、直接確かめることが出来るものに身も心も奪われて年月を重ねます。一人ひとり、何を思い語り行つてき続けているか阿弥陀様は何も問われません。ただ「助ける」と誓われ願われています。それを尊く思えてくるときが必ず訪れます。そのとき「ねてもさめてもへだてなく 南無阿弥陀仏をとらうべし」と言われることを願けましょう。

うなす
ナンマンダブナマンダブ

有頂天

「有頂天」

聞きなじみの
る方は、多い



じいじいはつ。
お寺だよ
ばあはあはつ。
おまだよ

「有頂天」
に「有頂天」は？

有頂天

のではないでしようか。数年前、三谷幸喜さんの「有頂天ホテル」が上映されました。有頂天とは、仏教でいう天の世界の一番上に位置しています。では、いいところなのかというと、お釈迦様は修行時代に放棄されました。

時は約2500年前のインド。悟りを開こうとシッダールタ（お釈迦様）は、ウツダカ仙人のもとを訪れます。そして、仙人の最高の境地である有頂天にすぐに到達します。驚いた仙人は、シッダールタを右腕にならないかと誘うのですが、彼はそれを断りました。

有頂天は別名非想非非想処といえます。思う事もなく、思うという事すらも思わないという世界です。しかし、お釈迦様は、それではひとりよがりの世界であり、しかも、その境地に居る時はいいが、戻ればまたすぐに迷いの心が起こるでないと断られたのです。

ここに深い意味があります。「あの人有頂天だねー」という時は、いい意味では使いません。有頂天は、孤独な



世界です。頂点に到達した、成功した、自分は正しいと思った時こそ、我が身を振り返らなければなりません。

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

有無

「冷蔵庫の中にあつたプリン食べた



の誰よ！」「ここに金は埋まっている！」「聖地を取り戻せ！」

家庭の痴話喧嘩から国家間の戦争まで、すべての争いは何かに固執することから始まるようです。これはあるんだという有と、これはないんだという無の執らわれやこだわりの心は、仏教では邪見と言ひ、誤ったものの見方であると言ひます。

真宗ではお馴染みの正信偈には、

釈迦如来楞伽山 為衆告命南天竺

龍樹大士出於世 悉能摧破有無見

お釈迦様が楞伽山におられるときに集まった人々にこう告げられました。南インドに龍樹大士が世に出て、悉く有無の邪見を破るであろうと

龍樹大士は、二世紀から三世紀に活躍された方です。親鸞聖人は、尊敬する七高僧の第一として挙げられています。有



るとか無いとかそれに執らわれない中道の道を明らかにされました。歩みたいものですがそれがなかなかできぬ私でございます。

10月の法座案内

12日(木) 定例法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：住職 「ねてもさめても」

今月の法語カレンダーより、住職が話します。

22日(日) 仏教入門法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

仏教入門法座：歎異抄を読もう

「歎異抄」ほど一宗派の壁を超えて、多くの人たちに読み継がれている宗教書はありません。西田幾多郎、司馬遼太郎、吉本隆明、遠藤周作等々…数多くの知識人や文学者たちが深い影響を受け、自らの思想の糧としてきました。また、信徒であるないに関わらず、膨大な数の市井の人々の人生の指針となってきました。その歎異抄を共に読み進めていきたいと思えます。

***送迎します。五井駅、自宅等々できるだけいたしますので、お寺に相談してください。遠慮は無用です**

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。命日で時間の無い方なども是非お参りください。

・草取り

毎月第二日曜日の朝八時から一時間ほど御加勢お願いいたします。*雨天中止
八日(日) 八時〜九時

・写経会

池上さんが講師です。いつでもどうぞ！
壮年会婦人会合同です。
一〇月休み

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！
壮年会 一八時〜 四日 一月は一日
婦人会 一〇時半〜 一二日

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424

・心耕発送者募集！

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志の門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態：三カ月に一度 主に月初めの平日
時間：一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

・メールマガジンのご案内

・毎月の行事、公開講座、子供会、落語会のご案内や4コマ漫画を、メールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、saikohji@saikohji.netまで、氏名を記入し送信してください。

・ポスティングお手伝い募集

度々開かれる、子供会・公開講座・落語会のチラシを近所へ配布しています。もし皆様の中で近所の五十軒だったら回れる、この町内は回れる。このお店にチラシを置かせておられるなどありましたら、連絡して下さい。年に数回です。
ご協力よろしく願いいたします。



・西光寺ヨガ

呼吸と脱力がメインのヨガです。

開催日 毎週火曜日開催(基本)

時間 一四時〜一五時

会費 五〇〇円(高校生以下無料)

持ち物 タオル 動きやすい服装

ヨガマット(レンタル二〇〇円)

・ケアカフェ市原開催

一〇月六日 一八時半〜 二〇〇円

市原市の医療や福祉関係者、また興味のある方に、カフェ形式で話しやすい場所を作ろうという企画です。周りで、医療関係者福祉関係者の方がおられましたら、ご案内ください。詳細は、「ケアカフェいちほら」で検索

・法名希望の方

法名は本来、生前に本山でいただくものですが、築地本願寺でも受けられます。十一月十二日の築地本願寺参拝で受けられますのでご希望の方は西光寺まで連絡を

・線香作りと紙芝居出張してきました！

五井中学校の近くにある認知症カフェかさねさんに、線香作りと西光寺紙芝居を披露してきました。集まった方々に、自分の葬式用の線香作ろうというブラックユーモアな企画です。大好評で今度は念珠作りで出講することになりました。



住職多感

九月場所の最中から終わった今でも、力士の怪我の多さに話が及ぶ。その理由の一番に多くの人があがるのが、場所数が多すぎて力士の体もたないということ。なんとかせねば相撲自体が魅力を失う。琴奨菊が久々に一〇勝を飾ったが、嬉しいのだけれどもなんだか複雑な場所だった。次は九州場所、琴奨菊が強い横綱をぶつ飛ばす相撲が見たいのだ。

現在、駐車場用地として使用している西光寺隣接地について役員会で報告・討議を行った。(議事録同封) なかなか思い通りにはいかない。納骨堂の建設についても急ぎたいのだが今のままでは追いつく話ではない。さあ困った。このままでは準備会にも行きつかない。努力だけは続けていくのだが展望が開けない。

今度の選挙は分かりやすい。でも分かりにくい。分かりやすいというのは保守系の二党

(自民党と希望の党)とリベラル系の一党の争いに集約された選挙戦になれば分かり易い。分かりにくいというのはリベラル系がまとまらない場合と保守系の二党の別れ方が複雑すぎるということ。

安倍政権がひどすぎる。特に国会の運営についてはでたらめのし放題で法治国家とはとても思えない状況がこれ以上続いてはたまらない。村度政治、いい笑いのものにしなければ。

希望の党、何が希望だかさっぱり分からない。

民進党、早く分裂してスッキリして政治の方向性を明確に示したほうがいい。

共産党、自ら解党するくらいのがなければ。

社民党・自由党・維新・公明e.t.c. . . . ずーっと消去法で投票してきたが今回も

同じことだろう。経済の発展を金銭でしかかれない時代の不幸の終焉を望んでいるのだが、原発問題はその契機になると思っっているのだが、そのことを明確に示す政党はない。

十一月の行事

。十二日(日)

築地本願寺報恩講参詣

。二十四(金)二十五(土)二十六(日)

西光寺報恩講

本教使・七里順皇師

埼玉県草加市旭光寺住職(長崎・五島列島出身)

。三島との勉強会 一日(水)午後六時

。十月八日(八時)

。十月十日(八時)

朝6時 午前六時半迄

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412
FAX. 0436-24-1652
HP <http://saikohji.net>
MAIL saikohji@hb.tpl.jp